



高知市・鏡川

～森と海とまちをつなぐ環境軸～



背景

鏡川は、幕末の志士：坂本龍馬が泳いだことでも知られる高知市の中心を流れる清流です。

2005年の高知市・鏡村・土佐山村との合併によって、源流から河口がひとつの市域に包括される全国でも珍しい川となりました。市街地から車で15分行けば、上流域の美しい農村景観と四季折々の美しい景色が楽しめることから、アユ釣りや川遊びなどで市民に親しまれ、幅広く利用されています。

現状の課題

しかし、鏡川上流域では人口減少や高齢化に伴い、暮らしや営みによる自然への適切な関与が減少し、景観の維持が困難になったり、自然災害等のリスクの要因となったりしてきています。

事業の目的

そこで、高知市では、鏡川流域の自然と人、人と人をつなぐ「**鏡川流域関係人口**」を創出・拡大し、鏡川流域の自然資本の価値と持続性を高める地域循環共生圏の実現に向けて、官民連携で取り組みます。

これまでの取組

事業内容

自然と人、人と人をつなぐ
鏡川流域関係人口の創出・拡大

企業版ふるさと納税公募事業 「鏡川流域関係人口創出事業」

龍馬の泳いだ鏡川を
後世に!



鏡川流域の美しい自然を守り、ひいては自然災害や有害鳥獣被害等のリスク対策にもつなげるため、「自然と人、人と人との自発的で多様な関わりとつながりを創出・拡大する」ことを目的としています。

1

流域内関係人口の創出

高知市内で自然と人、人と人をつなぐ地域循環共生圏のための人材育成と関わりづくり。地域課題の解決に向けたプログラム作りを通して、地元の魅力を再発見し、シビックプライドを培っていきます。



2

流域外関係人口の創出

オンライン講座を通じて、他県などの都市圏から新たに人の関わりを創出・拡大します。高知市に関わる交流人口と定住人口の間に位置する「関係人口」を増やしていきます。



3

関係人口の拡大（プロモーション）

講座やイベントの実施だけでなく、WEBを活用したプロモーションにより、関係人口をより増やしていきます。



4

ネットワークインフラの構築

電子地域ポイントの活用により、つながりを可視化することで、地域資源の相互連携・相互作用を促進し、課題解決のための様々なプロジェクトが推進されます。





高知市・鏡川

～森と海とまちをつなぐ環境軸～



得られる
成果等



2017鏡川清流保全基本計画/目指す姿（イメージ）

鏡川がつなぐ地域資源の相互連携・相互作用
＝高知市版地域循環共生圏（ローカル SDGs）の実現へ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

寄付企業さまの
メリット等

寄付企業の皆さんにとっても、

- ★SDGs人材研修のフィールドとして活用いただけます。
- ★ネットワークインフラを活用して、高知市・市民とSDGsを協働できます。

企業SDGs、CSV
活動の実績、
ESG評価